
 <p>市長 櫻井 義之</p>	<p>三重県亀山市</p>  <p>市章</p>	<p>【データ】 ※平成29年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口：49,530人 ・世帯数：20,835世帯 ・面積：191.04km² ・市の花・木：花しょうぶ・杉 ・特産物：亀山茶、ローソク ・イベント：関宿祇園夏まつり、関宿納涼花火大会、亀山市納涼大会、東海道関宿街道まつり、亀山大市
---	---	--

●亀山市の特徴

亀山市は三重県の中北部に位置し、まちの歴史は古く、古代、鈴鹿の関は、越前の愛発、美濃の不破とともに日本三関と呼ばれ、都と東国を結ぶ交通の要衝として栄えてきました。江戸時代に入ると、亀山宿、関宿、坂下宿は東海道の宿場町としてにぎわいました。

明治時代の中頃には、関西鉄道（現関西本線）と参宮鉄道（現紀勢本線）が相次いで

開通し国有化されたことから、亀山は両線が分岐する鉄道のまちとして発展してきました。

また、東名阪自動車道、近畿自動車道伊勢線が整備されてからは、名阪国道や国道1号とも結節して、企業が立地し内陸産業都市として発展してきました。



東海道 関宿

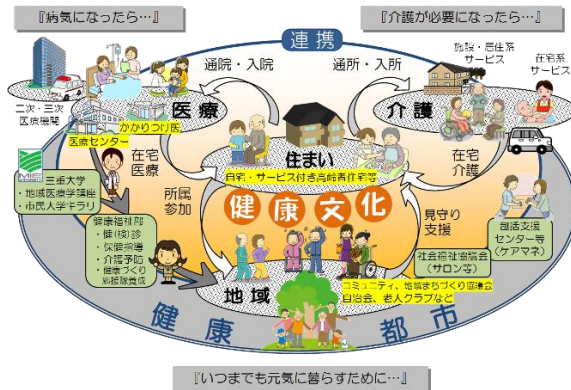
このように、亀山市はそれぞれの時代を通して交通の結節点としての役割を担ってきました。

“古きよきもの”と“新しいもの”が交差するまち亀山市は、鈴鹿山系が育む貴重な自然と東海道の宿場町の面影や、日本武尊伝説などの歴史文化資源に恵まれた豊かな環境のまちです。



亀山公園 菖蒲園

●亀山市の健康都市の取り組み



市の最上位計画である第2次亀山市総合計画において、基本施策の大綱に「健康で生きがいを持てる暮らしの充実」を掲げ、「健康都市」として市民の健康を支える都市環境を整え、市民が自分自身で、地域で行う主体的な健康活動を促すとともに、市民のライフステージに応じた健康づくり支援を行うことで、市民の健康寿命を伸ばし、健康的で豊かな暮らしの実現を目指しています。

●ひとに優しい健康都市「亀山」

亀山市では、市民が豊かな食生活と健康で生きがいのある充実した生活を実現できる「健康文化のまち」を目指し、健康づくりの取り組みを進めています。

その取り組みの一つとして、地域での健康づくり活動の定着に向けた「健康づくり応援隊養成講座」を開催し、地域での健康づくり活動の輪を広げています。



「健康づくり応援隊養成講座」で

●三重大学「亀山地域医療学講座」

亀山市では、国立大学法人三重大学と連携し、三重大学医学部に「亀山地域医療学講座」を設置していただいています。

この講座では、亀山市立医療センターを主なフィールドとして、市民が健康で安心できる生活を提供する最適な医療保健体制の確立に向けて、研究・教育活動が行われています。



三重大学との寄附講座設置協定書調印式
写真左は三重大学学長（平成23年5月当時）

医師（総合診療医）が地域に出向き、住民との講話と対話を行い、地域医療への関心と理解を深める「医療カフェ」の様子



亀山市 健康福祉部 長寿健康づくり室

三重県亀山市羽若町545番地 亀山市総合保健福祉センター「あいあい」

TEL:0595-84-3316 FAX:0595-82-8180 E-mail: choujyukenkou@city.kameyama.mie.jp